

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 2日

事業所名 児童発達支援センターこじか園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	23		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法的基準は満たしているが在園児の年齢のバランスによって狭くなることもある。</li> <li>・人数が多いグループは部屋を分けて使ったり、工夫している。(複数)</li> <li>・感染症の子どもが出たりすると感染予防として、となりと距離を置いて食事をするスペースを作るなどの工夫をしている。</li> <li>・今年年長児が13人なので、少し手狭だが、廊下や多目的室を使って工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも工夫しながら部屋の使い方を考えていきます。</li> <li>・グループの人数により子ども部屋の使い方も考えていきます。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切であるか	23		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法定よりも多い配置で行っている。</li> <li>・基準は満たしているが、日数、時間などに限りがある職員もいるため安定性に欠ける時がある。その時には、園長・発達相談員・事務員などが保育に入るようにしている。</li> </ul>	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰が見てもわかりやすい環境づくりはしている。</li> <li>・子どもたちにとってわかりやすい環境を設置し、一人ひとりマークを使用したり、同じ部屋を使う場合にも具体物などを用いてわかりやすくしている。(複数)</li> <li>・活動の時と給食を食べる場は同じではあるが、テーブルクロスやランチョンマットを使い、時間によって使い方の違いが分かるように工夫している。</li> <li>・必要な時に必要なものを出すなど情報量を整理している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達が分かりやすく、毎日生活できるような環境づくりをこれからも考えています。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広い空間はとるようにしている。</li> <li>・次亜塩素酸水や電解水、オゾン発生器や空気清浄機などいろいろ気を付けている。</li> <li>・必要以上の装飾をしたり乱雑にならないように整理しながら部屋の環境を整えている。</li> <li>・清潔でいうと、毎日床やテーブルは消毒を行っている。</li> <li>・子どもが活動しやすいような配置を行っている。</li> <li>・毎日の清掃、消毒など必ず行い、常に清潔な環境で過ごせるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から子ども達が心地よく過ごせるような環境づくりには気をつけていますが、これからは心掛けていきます。</li> </ul>
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	22		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の保育や行事で反省を行い、良い保育を作ろうと心掛けている。</li> <li>・すべての職員が意見する機会をつくっている。</li> <li>・勤務時間の短い職員にも反省点、気づきなどをその都度個別に伝え確認している。</li> <li>・保育現場、発達相談、事務給食、送迎、それぞれ仕事の役割を担っている。月に1回会議をし、振り返り、職員会議で全員のものとしている。</li> <li>・毎朝職員朝礼をし、反省などその内容を共有している。</li> <li>・月1回全職員が顔を合わせて職員会議を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こじか園の組織として、職員は自分の役割を理解・協力し、報告・連絡・相談をしています。園児、保護者他に伝達しなければならない内容を職員みんなで共有しながら全員のものになるように心掛けています。</li> </ul>
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	21		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意見をしっかりと把握しながら、いい保育を作っていこうと考えている。</li> <li>・保護者からの質問や意見はすべて目を通し、把握しながら話し合っている。保護者の意見に耳を傾けつつ、必要に応じてやっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の評価表の意向だけでなく日頃から保護者との関係を大切にし、意見を聞き、子ども達に対応できることは考えていきます。</li> </ul>
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	21		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人のホームページに掲載しています。</li> </ul>	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	15		<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議委員はいるが、問題があった時に報告し評価をしてもらう体制になっている。外部評価はしていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者による外部評価は行っていない。</li> </ul>
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	23	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な内容の研修はできている。(複数)</li> <li>・月に1回職員会議の後、研修が行われている。</li> <li>・外部研修、内部研修共に研修の機会が多く設けられている。</li> <li>・全職員対象の研修や職種別の研修などを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修は実践を高めるため、必要と考えたことはこれからも計画していきます。</li> </ul>
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	22	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意向を聞き取り、支援計画作成会議にて複数の職員で話し合いながら作成している。</li> <li>・子どもの発達を保護者と確認し、個別の支援計画を立てている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで作成したものを、主任・グループリーダー・児童発達管理責任者・園長で客観的に子どもをとらえて検討している。</li> </ul>
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「適応行動の状況を図るため」ではなく、その子どもを丸ごととらえるため、一つの手段としているほうが強い。</li> <li>・園独自で作成している。(複数)</li> <li>・入園前の子どもの様子など詳しく聞いている。(複数)</li> <li>・標準化されたものではなく園独自のものを使用している。(複数)</li> </ul>	

適切な支援の提供

12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	22	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画は直接保育にあたっている保育士も会議に入り意見を出す場面も作っているため、具体的な内容が設定されている。</li> <li>・大きくは生活・あそび・社会性で分けてから、園生活の中にある活動を網羅しながら支援内容を考えている。</li> </ul>	
13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	22	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直ししながら個々のケースの支援を確認し、支援している。</li> <li>・目標や支援内容がすぐに確認できるようにファイリングし、目を通しながら周知している。振り返りや反省の中で気づきを伝えあうようにしている。</li> <li>・年々少、年少、年中は半年に1回、年長は年3回見直しをし、丁寧に行っている。</li> </ul>	
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	23	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月案や週案もグループごとに確認できている。</li> <li>・子ども達が楽しめそうなことを出し合いながら、何をするか、子どもにとってどうかや当日のデイリーなどは話し合っている。(複数)</li> <li>・グループで月案を考えグループリーダーで調整して、最終は園長、児童発達管理責任者、主任で検討している。</li> </ul>	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	23	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループリーダー会議で各グループの内容を調整したり、意見を出し合っている。(複数)</li> <li>・あらかじめグループ毎に保育内容を決めている。</li> <li>・一年の中で日本の文化的な行事を大切にしたり、その子どもに合わせた内容を考えている。</li> <li>・子どもたちが楽しめそうな保育内容を考えたり、季節ごとの遊びを工夫しながら取り入れている。</li> <li>・年間を通じて子ども達の発達に合わせて必要な内容を検討している。</li> </ul>	
16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				
17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	22	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達一人ひとりの発達段階に合わせた活動内容にしている。</li> <li>・個別支援の計画の中で個人と集団の課題を記録し、総括の中で集団がどうであったか確認できている。</li> <li>・個別活動として設定されていないが、集団活動の中で個別に配慮が必要な場合は個別に対応している。</li> <li>・集団活動の基本として、個別活動が必要な場合は個別に対応を行うようにしている。集団の中での個人を目標を支援計画には明記し、関わるようにしている。</li> </ul>	
18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	22	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認はしているがもう少し詳しくしなければいけないと思うこともある。</li> <li>・毎朝職員間で確認が行われ、全体のものとなっている。(複数)</li> <li>・保育内容を共有し、それぞれの役割を把握する。</li> <li>・グループでの日誌の確認と振り返りをしている。</li> <li>・行事や毎日の保育前には流れや動きの確認を必ず行うようにしている。</li> <li>・役割を日々交代しながら保育にあたり、打ち合わせと振り返りを大切にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせはするようにしていますが、いろいろな立場の職員(出勤時間が違ったり、役割が違ったり)がいますので、今以上に役割分担や支援内容の確認をしていきたいと考えています。</li> </ul>
19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	22	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共有はできるだけ行っているができないこともある。</li> <li>・毎日反省して次につなげている。(複数)</li> <li>・毎日反省が行われ、全体での反省、グループでの反省があり共有している。(複数)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせや振り返りはしているが、直前の打ち合わせになっているものもあるので、「事前に」をこれから意識していきたい。</li> </ul>
20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	22	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的、分析的な視点で検証することは苦手ではないかと感じる。そのために研修の内容を考えてやっている。</li> <li>・個人の記録は一職員が書くのではなく、職員でどうであったか話をしてから書いている。</li> <li>・反省で得た気づきを共有、記録し、次につなげていくようにしている。(複数)</li> <li>・個人記録やリーダーとなった場合は反省を踏まえて行っている。</li> </ul>	
21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	22	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に見直しをしている。(複数)</li> <li>・2～4歳児は6か月、5歳児は3か月に1回見直している。</li> </ul>	
22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか				
23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	20		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象児のグループ担当や児童発達管理責任者、主任、園長が入っている。</li> </ul>	
24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	21		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて連携はしている。</li> <li>・役割で園長が連携をとったりしている。</li> </ul>	
25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	23		<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送り、書類を送付したりしている。</li> <li>・申し送りや見学に同行している。</li> <li>・申し送りや子どもの様子を見に来ていただく機会を作っている。対応する必要がある場合は情報の共有等できている。</li> <li>・転園児がいた場合、相手方の園に見に来てもらったり、書類で伝えたり、新学期が始まってから直接担任とやり取りをしている。</li> <li>・見学に同伴したり、申し送りを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年行っている直接的なやりとりはできませんでしたが、書類のやり取りは例年通り実施している。</li> </ul>
29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	22		<ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児が就学する際、学校側の先生に見に来てもらったり就学後に申し送り書や申し送りで共有できている。(複数)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書類のやり取り、来年度就学する子どもたちのことは就学先の先生に見に来てもらい、情報共有と相互理解を行っている。</li> </ul>
30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
31	(放課後等デイサービスののみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	22	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTの先生に定期的に助言を受けている。</li> <li>・和歌山県障害児保育運動連絡会などの事業所との研修や話を聞く機会などがある。(複数)</li> <li>・助言や研修を受けているわけではないが、情報交換ややり取りは適宜行っている。</li> <li>・PT 盲・ろう学校の教育相談などの専門性のある方に来ていただく機会がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山県障害児保育運動連絡会で連携をし、研修を一緒に企画したりしています。</li> </ul>
33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の文化祭に出させていただきました。(複数)</li> <li>・交流する機会としては設けていないが、地域のイベントに参加している。</li> </ul>	
34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	21		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長や発達相談員が参加している。(複数)</li> <li>・園長や発達相談員が参加し、園のみではなく和歌山市の子どもの環境を良くしようと奮起している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山市自立支援協議会の子ども部会には事務局員として園長と発達相談員が参加しています。県の子ども部会は園長が和歌山市子ども部会の部会長として出席しています。</li> </ul>
35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	23	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の連絡ノートで、家の様子や園の様子は確認できている。</li> <li>・連絡ノートや親子保育などで顔を合わせる時や電話などで伝えている。</li> <li>・毎日の連絡ノートでやり取りしたり、必要に応じて電話連絡をしている。発達相談や個人懇談で相談の機会は設けている。</li> <li>・毎日の連絡ノートや電話、送迎時などで話すようにしている。個人懇談や発達相談でも確認している。</li> </ul>	
36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	22	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な～プログラム～療法ではないが、親子保育や保護者学習会などを通して行っている。(複数)</li> <li>・保護者会活動の中での交流会なども保護者支援となっている。</li> <li>・毎日のノート、電話連絡、送迎時の対応などを通して保護者との関係とつくるようにしている。</li> <li>・保護者会活動や親子保育、学習会を通じて支援を行っている。</li> <li>・保護者学習会を行ったり親子保育や交流行事などで、話をしたり同じような悩みを聞いたりする中で、保護者の対応力の向上につながっていると思う。</li> </ul>	
37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	20	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長が年度内で変更があっても説明している。(複数)</li> <li>・入園時の説明といつでも閲覧できるように玄関に置いている。</li> <li>・保護者総会や入園時、その都度変更があった時などはきちんとするようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初め4月に保護者総会で伝えるようにしています。休んでいた方には後日伝えるようにしています。玄関にもファイルを置いていますので、いつでも閲覧してください。</li> </ul>
38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	20	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人懇談や家庭訪問で時間をとって年間2回から3回支援計画の開示、説明を行い保護者に計画の説明をしている。(複数)</li> <li>・発達相談や個人懇談で悩みを聞いたり、必要に応じた助言はしている。</li> </ul>	
39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	23	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ノートで保護者が書いている文章を見て悩みはないか常に確認している。</li> <li>・家庭訪問、個人懇談以外でもいつでも相談にのっている。</li> <li>・連絡ノートでやり取りしたり、必要に応じて電話で連絡している。発達相談、個人懇談で相談に応じる機会は作り、保護者から相談しやすい機会を設けながら気にかけるようにしている。(複数)</li> </ul>	

保護者への説明責任等	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	22	0	・保護者会活動は園長が会議に入ったり相談にのったりし、支援している。	・親の会で委員会や担当が集まる時、必ず最初は園長が参加して、ねらいやこれからの予定などを一緒に考え説明するようにしているが、保護者たちが負担にならないように、無理なく交流ができる場になるように支援していきたい。
	41	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	0	・その都度時間と場所を設けている。 ・できるだけ迅速に相談に応じるようにはしている。	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	23	0	・園だよりを定期的に発行している。(複数) ・年間計画の発行や毎月の園だより、随時必要な手紙やグループのお知らせなど保護者に配布している。 ・園としては発信しているが手紙を読んだり確認したりしない保護者が増えているように思う。	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	23	0	・外部に持ち出し禁止となっている。(複数) ・職員会議で事あるごとに守秘義務、個人情報の確認はしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	23	0	・職員として常に配慮を心掛けている。 ・個別に対応している。 ・毎日のノートで保護者との連絡を取り合っている。 ・子どもに対してできるできないでなく、その子の素敵なところを伝えるように心掛けている。 ・必要な保護者に電話を入れたりしている。 ・電話で丁寧に伝える、確認するなどしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	21	2	・コロナ禍の以降、制限しているところがある。ただし、こちらから出ていくことはしている。 ・もちつき、芋ほりや園で収穫した野菜など地域に届けることはある。 ・今年度は招待していないが、夏祭りなどコロナ禍が明けたので、徐々に開いていけるといいと思う。	
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	23	0	・定期的に訓練を行っている。 ・毎月避難訓練は行っている。(複数) ・保護者も地域の小学校まで避難訓練に行ったりしている。	
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	23	0	・定期的に訓練を行っている。 ・実際に子どもたちと最終避難場所の山口小学校まで行く訓練も行っている。	・毎月いろいろな時間で行っているが、保育中でまだできていない時間帯があるので、企画に入れていく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	23	0	・毎年4月に調査表を書いてもらったり、発作が分かった時に詳しく保護者に聞いている。(複数) ・毎月いろいろな時間で行っているが、散歩に行っている場合の訓練ができていないので企画に入れていく必要がある。 ・年度始めに書類を提出してもらっている。発作時の家の薬を預かり保管し、送迎時にも持っていき、いつもで対応できるようにしている。	・事前に保護者から聞いている子もいるが園生活の中で気になった子どもは、保護者に伝え受診してもらうようにしています。これからも園で気づいたことは保護者に伝え、子どもの状況をしっかり確認していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	21	0	・今年度は給食でのアレルギーの子どもはいませんが、いる時は除去食や特別食を作り、間違わないように記名を必ずしている。 ・アレルギーに対して医師の診断書や生活表を書いてもらっている。(複数)	・アレルギーの子どもさんは医師の診断書を出していただき、園として気を付けることを職員で情報共有するようにしています。経過を見ていくのも保護者と連絡を取り合って対応していきたいと考えています。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	22	1	・全職員参加の職員会議で確認したり、必要なことは随時職朝などで全職員で共有している。 ・ヒヤリハットが次に改善されるように、すぐに職員間で話し合いがされている。(複数) ・ファイルは作っている。また月1回の職員会議でその月にあったことは確認している。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	23		・子どもへの対応については相互に意見を出し合い考えるようにしている。 ・虐待防止の研修会を実施している。(複数)	・毎年虐待の研修を行うようにしています。研修だけでなく日頃から相互批判ができるようになっていきたいです。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	20	2	・日頃の身体拘束はしていないが、送迎バスでチャイルドシートを嫌がったり、外そうとする場合は、安全確保の為に保護者の了解を得たうえで承諾書を取り、少し固定をさせてもらっている。(複数)	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。